世界遺産登山マップ 釈迦ヶ岳・大日岳コース

歩行距離　13.6km
歩行時間　約4時間50分
所要時間　約6時間50分

玉置山・宝冠の森コースP6 ▶

ワンポイントアドバイス

●スタート地点へのアクセス

五條方面からマイカーで、国道168号を南下。田長瀬トンネルを出て右折し、旭橋を通って右折し、そこから約20km・所要時間1時間で新登山口に到着します。途中、林道旭線から、旭ダムを経て林道旭線・不動木屋線を通ります。登山口には、トイレと約10台分の駐車スペースが有ります。林道不動木屋線は12月下旬～3月31日の間、冬期通行止め。

●コース途中の歩き方

新登山口からの登りは、整備が行き届き歩きやすい道です。最初は登り坂が続きますが、30分くらいで尾根道になり、不動小屋谷方面からの登山道と合流します。右に大日岳ブナ林の中を進み、正面に釈迦ヶ岳が見えてくると古田ノ森、バイケイソウの群生する湿地帯を通り千丈平を過ぎ、右にかくし水を見て釈迦ヶ岳への登りになります。釈迦ヶ岳直下で奥駈道に出合い一気に登るとブロンズ製の釈迦像が立つ釈迦ヶ岳頂上に到着します。

健脚コースはそこから深仙ノ宿までは南へ奥駈道を一気に下ります。深仙ノ宿で長めの休憩をとり聖天の森、五角仙を経て大日岳に到着します。ここから来た道を戻りますが、南へ下ると太古ノ辻を経て前鬼方面へ行くこともできます。

●歩き終えたら

新登山口から源泉かけ流し温泉「十津川温泉郷」（湯泉地温泉・十津川温泉・上湯温泉）までは、車で約90分～120分。登山のあとは、各温泉でゆっくりとおくつろぎください。また、谷瀬の吊り橋までは、車で約40分です。

お問い合わせ：十津川村観光協会　TEL.0746-63-0200

周辺のみどころ

もみじ街道

もみじ街道は、国道168号・宇宮原から旭川沿いに旭ダムへ向かう約8kmの道で、もみじの葉が色づき始める11月初旬には、旭ダム湖畔の道沿いは一面紅葉に彩られます。

釈迦ヶ岳登山口は、もみじ街道をさらに奥に進んだところにあり、ハイキングシーズンには、各地から登山客が訪れます。

釈迦ヶ岳と釈迦如来像

続日本百名山に選ばれた釈迦ヶ岳は標高1800m。急角度で立ち上がるピラミッド型の山容は、峯中一の秀峰といわれています。

山頂の眺望は360°さえぎるものがなく、大峰山系随一の展望で大峰山脈のほぼ全容を見渡すことが出来ます。

また、山頂で迎えてくれるブロンズ製の釈迦如来立像は、天川村の強力「オニ雅」こと岡田雅行が大正13年夏、一人で担ぎ上げたものです。

釈迦如来像は平成19年7月に修復完了。

深仙宿

大峯奥駈道には「宿」と呼ばれる修験者の行場があります。その中の一つ深仙宿は、今もなお、本山派（天台宗修験）の根本道場として重要な行場です。

釈迦ヶ岳から奥駈道を南に下った所にあり、近くには「万病に効く」という香精水が湧き出しています。

古田ノ森

不動小屋谷出合を過ぎ、右前方に大日岳を見ながら尾根道を登っていくと、ブナの木が林立した古田ノ森に到着します。

このあたりにはバイケイソウが群生していて、ブナ林の向こうには、釈迦ヶ岳の山頂も見えます。